

報道発表資料の配付日時 4月18日(金) 10時00分

発表項目 (行事名)	道道古平神恵内線通行止めの解除について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<input type="checkbox"/> 概要 1 通行止めの解除予定について 4月14日(月)16時から車道部のひび割れと道路路肩部の変状により通行止めが続いている道道古平神恵内線について、現地調査の結果、1車線の安全を確認したことから、4月18日(金)12時より、誘導員を配置し、片側交互通行により通行止めを解除する予定となりました。 ただし、夜間(19時～7時)は通行止めを継続いたします。 2 通行止めの経緯などについて 別紙 3 全面交通開放について 引き続き、本復旧に向け必要な調査や対策を行い、早期の全面交通開放に努めてまいります。		
参考	※今後、全面交通開放についても、決定次第改めてお知らせします。		
報道(取材) に当たって のお願い			
他のクラブ との関係	<input type="checkbox"/> 同時配付 <input type="checkbox"/> 同時レク 道政記者クラブ、後志総合振興局		
担当 (連絡先)	北海道後志総合振興局小樽建設管理部 (担当者:用地管理室長 岡田 実) TEL ダイヤルイン 0134-25-2106 北海道建設部建設政策局維持管理防災課 (担当者:課長補佐(道路維持) 島 豊) TEL ダイヤルイン 011-204-5546 内線29-252		

別紙

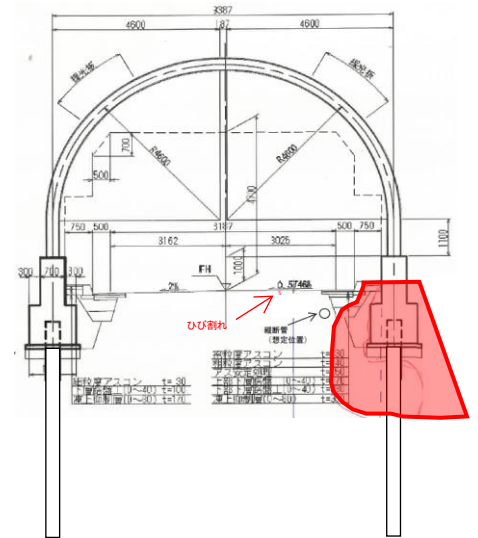
道道古平神恵内線 通行止めの経緯などについて

1. 経緯

- ・ 4月14日(月)11時頃、道路パトロール中に道道古平神恵内線の熊見覆道内において、車道部のひび割れと道路路肩部の変状が確認されたため、14日(月)16時より通行止めを開始(延長17km)。
- ・ 4月15日(火)8時より原因確認のため舗装を撤去したところ、融雪などの影響により覆道外側の土砂が流出。それに伴い、路体が緩み車道部にひび割れが発生したものを。

2. 変状の概要

- ・ ひび割れ:約5m
- ・ 路肩部の変状:延長約8m、幅約3m、深さ約4.5m
- ・ 人身・物損被害:無し



3. 今後の対応

- ・ 被災原因及び本復旧方法については現在調査検討中であり、2車線確保までには時間を要する見込み。
- ・ 神恵内村、泊村、古平町には、状況や復旧見込みなどについて情報提供しており、今後も継続する。
- ・ 緊急車両などの通行が必要となった場合は、道路管理者による監視の下、夜間でも通行可能とする。

4. 迂回路

- ・ 当該路線は、泊発電所の北海道地域防災計画における基本避難経路に設定されているが、その他の避難経路として国道229号が設定されている。

古平神恵内線 通行止解除 (片側交互通行)

